

大分教育事務所訪問 52

大分市立大在中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

本校は「誰一人取り残すことなく、誰一人置き去りにすることなく、誰一人除外することなく、生徒の学びを保障し、個性を伸ばす教育活動」を展開するため、「全ての教育活動は、人権・同和教育の視点をもって計画・実践すること」を明言しています。その基盤の上に、学校の教育目標「主体的に学び 活用力を身につけ 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成」を定め、どの生徒も安心して楽しく学べる授業を目指しています。

それぞれに育成すべき資質・能力を定めていますが、今後は、協議の際に確認した「自分で課題を発見できる力」を学校として育成を目指す（教科横断的な）資質・能力と焦点化することで、職員62名と生徒928名のベクトルが揃いやすくなると思いました。

※参考資料「中学校学習指導要領解説 総則編 P52 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 ウ問題発見・解決能力」

また、本校が重点的に取り組む、学校経営計画表の取組項目は、どの「資質・能力（3本柱）」を育てるために行うのかを明確にすることで、教職員や保護者・地域の方との共通理解が推進されると思いました。このように、教職員や学校関係者の上位目標の理解がすすむと、方法は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まると思いました。



NO.241 2021年9月 大在中学校

正対する

オンラインだと、お互いの顔を正面から見ることができずね。そこから、いろいろなことが見えてきます。



NO.249 2021年9月 大在中学校

団体戦

受験は個人戦だけど、学習は団体戦。学び合い、高め合い、助け合い、励まし合う集団で、個人も磨かれる！

授業から学ぶ

3年生のテストの様子を参観しました。最後まで集中して問題に向かう生徒の姿と、下校時に生徒玄関で生徒達を見送る先生の姿がとても印象的でした。また、2年生のオンラインによる帰りの会では、先生は問題を出しながら、一人一人の生徒の様子を笑顔で見っていました。共に人権教育の視点に立った指導の姿をみることができました。

また、提出された指導案からは、どの授業においても終末の時間をしっかり取っており、振り返りを大切にしていることが伺えました。今後は、その「振り返り」において、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にして明記することで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり、本校の研究主題にもある、指導と評価の一体化が推進されると思いました。



NO.240 2021年9月 大在中学校

最幸のワクチン

笑顔が免疫力を高めることは証明されています。笑顔の人を見ると自分も笑顔になる。最高の笑顔は最幸のワクチンですね！